

中央電機通信株式会社 太陽光発電事業(須賀川発電所)

■事業概要

本事業は、福島県須賀川市にある丘陵部の山林に、敷地面積 77,427 m²、発電量 2,359kw の須賀川発電所を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	福島県須賀川市
用途地域	—
発電量	2,359kw
工事予定期間	平成 29 年 6 月～平成 29 年 11 月
供用開始予定	平成 29 年 12 月

■立地環境

事業予定地は、福島県須賀川市小中地区にある丘陵部の山林であり、主にスギ植林とアカマツ林となっている。

事業予定地の丘陵部は南向き斜面となっており、斜面の下は谷津田である。西側及び東側は山林、北側を流れる江花川沿いには水田が広がり、周辺に住居等はないが、北西約 1km の位置に旧長沼町の中心市街地がある。

■実施した環境影響調査

須賀川市及び福島県の公表資料、環境省の第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査などの既存文献資料調査を実施するとともに、事業予定地及びその周辺の動物と植物について専門技術者による現地調査を実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

環境配慮計画書をホームページで公表するとともに、事業者の社屋にて閲覧を行い、意見を受け付けた。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 立地に係る配慮：重要な植物（ナガミノツルキケマン、キンラン）の生育地は改変せずに残存し、重要な動物（アカハライモリ、ツチガエル）については生息地を改変するため、近接地に代替生息地を確保する計画とする。
- 建設工事中の配慮：建設工事に使用する建設機械は、排出ガス対策型及び低騒音型建設機械を使用する計画とする。



環境配慮に関するコメント

事業予定地及びその周辺の動物と植物については、現地調査を実施したうえで環境配慮の取組を計画していること、事後調査の方法を具体的に記載していることは評価できる。

一方、事業予定地及びその周辺は森林で覆われ、貴重な動植物の生息・生育地でもあるため、可能な限り改変面積を小さくするようお願いしたい。また、フォローアップにあたっては、工事完了後も重要な動物及び植物への影響の有無の確認をお願いしたい。さらに、太陽光発電設備が使用済みとなって排出される段階においては、その時点での最新の知見を踏まえて、リユース・リサイクル・適正処分に努めるようお願いしたい。